

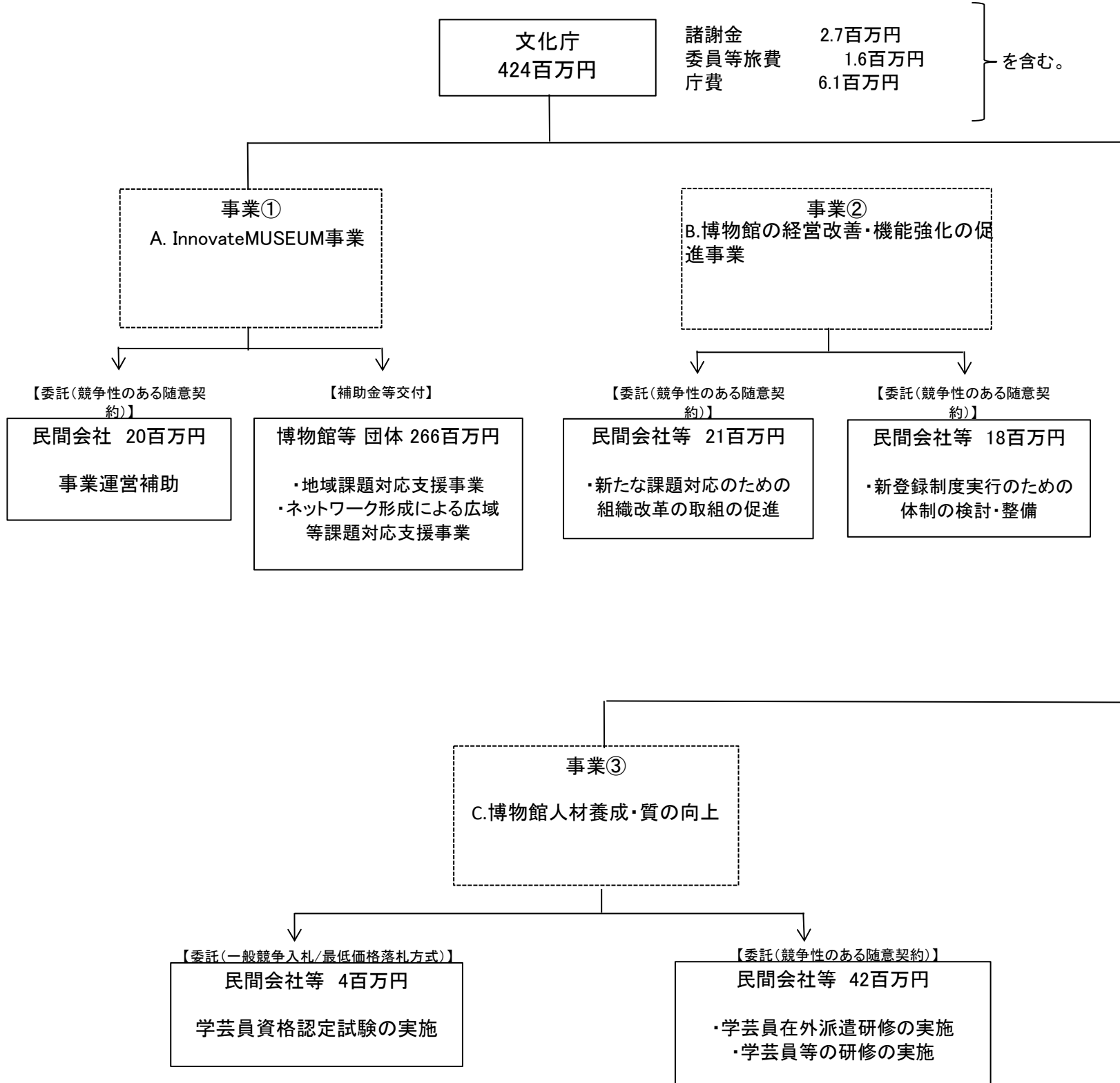
	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)		
事業名	博物館機能強化の推進			担当部局庁	文化庁		作成責任者	
事業開始年度	令和4年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	企画調整課		企画調整課長 寺本恒昌	
会計区分	一般会計							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	教育基本法 第12条 社会教育法 第3条 博物館法 第3条、文化観光推進法			関係する 計画、通知等	文化芸術推進基本計画(平成30年3月6日閣議決定)			
政策	文化芸術の振興			主要経費	その他の事項経費			
施策	文化芸術の創造・発展・継承と教育の充実							
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-37.pdf							
事業の目的 (5行程度以内)	文化審議会博物館部会において「これからの博物館に求められる役割」(5つの方向性)が提示され、これまで博物館が担ってきた基本的な役割とともに、新たに社会的・地域的な課題への対応と、持続可能な経営基盤の確立の必要性が示された。これを踏まえた改正博物館法を受けて、本事業では博物館に求められる新たな役割に対応するための先進的な取組を促進するとともに、博物館がこのような新たな役割に対応していくことに向けた事業実施基盤や経営基盤の強化を図る。また、新たな博物館制度を運用するための所要の体制整備を行う。							
現状・課題 (5行程度以内)	博物館法の施行から70 年が経過し、文化芸術基本法や文化観光推進法等の施行、文化財保護法の改正、国際博物館会議(ICOM)などにおける国際的な動向、デジタル化や新型コロナウイルス感染症への対応等を踏まえ、博物館法が担うべき役割・機能も、大きく変化している。令和4年の博物館法改正を受けて、博物館は、貴重な資料を収集・保管し、公開・教育普及を行い、調査研究をしていくという、従来からの基本的役割の充実はもとより、それぞれの目的や使命に応じ、個々の特色を活かしながら、多様化・高度化した新たな役割を担うことが期待されている中、改正法施行後は、そのような活動を支援し、振興していくことが求められている。							
事業概要 (5行程度以内)	これからの博物館が新たに求められる社会的・地域的な課題への対応に先進的に取り組む事業を支援し、その内製化と横展開を目指す。特に、人口減少や社会包摂などの政策的に重点的に取り組むべき領域における先進的な活動を支援する。支援に当たっては、活動の自立化・内製化のための経営基盤の確立と横展開まで見据えた計画であることを重視する。また、博物館の社会的・地域的課題への対応に向けた事業実施基盤の強化や、単館では対応できない課題の解決のため、人材・ノウハウの共有等を行う博物館の組織連携・ネットワーク形成の取組を支援する(定額補助)。博物館の経営基盤の強化に向けては、外部資金の獲得等に向けた組織改革の取組を進めるための研修・実践を通じた知見・ノウハウの蓄積とその博物館界への発信・共有を実施。また、新たな博物館制度の円滑な運用に向けた体制整備を実施(委託)。							
事業概要URL	https://www.bunka.go.jp/seisaku/bijutsukan_hakubutsukan/shien/innovate_museum/							
実施方法	委託・請負、補助、その他							
補助率等	定額補助							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
	予算の 状況	当初予算(A)	-	-	424.4	438.7	700	
		補正予算(B)	-	-	-	-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-		
	予備費等(E)	-	-	-	-			
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	424.4	438.7	700		
	執行額(G)		-	-	381.4			
	執行率(%) =(G)/(F)		-	-	90%			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		-	-	90%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)		文化振興費			改正博物館法を受けて、新たに専門人材による学芸員の資質向上等の取組を実施するため。 重要政策推進枠 211百万円		
		(目)	文化芸術振興費補助金	300	510			
			文化芸術振興委託費	128	177			
			庁費	6	6			
			委員等旅費	2	3			
			諸謝金	2	2			
			職員旅費	1	2			
			その他	139	190			
			計(A)	438.7	700			

活動内容① (アクティビティ)		これからの博物館に新たに求められる社会や地域における様々な課題に対応する取組や博物館の組織連携・ネットワークの形成を通じた課題解決への取組への支援								
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		先進的な課題解決対応事業数	採択件数	活動実績	事業	-	-	50	33	-
				当初見込み	事業	-	-	36	35	-
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	これからの博物館に新たに求められる、社会や地域における様々な課題に対応する取組や博物館の組織連携・ネットワークの形成を通じた課題解決への取組を進めていくにあたっては、博物館のネットワークはもとより地域の様々な団体との連携が求められる。								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		博物館における「民間社会教育事業者との連携・協力状況」	全国の博物館における「民間社会教育事業者との連携・協力状況」について、前回調査時の実績以上を目指す	成果実績	事業	-	393	-	-	
				目標値	事業	-	562	-	-	
				達成度	%	-	69.9	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		社会教育統計博物館調査(博物館)及び(博物館類似施設)								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	地域の事業者との連携と協力により、博物館機能を通じた多様な事業に取り組む。これによりネットワーク形成による博物館機能の強化が進められ、地域課題への対応や地域活力の向上が見込まれる。								
成果目標及び成果実績①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		博物館における事業実施状況	全国の博物館における「博物館における事業実施状況」について、前回調査時の実績以上を目指す	成果実績	事業	-	2,444	-	-	
				目標値	事業	-	3,013	-	-	
				達成度	%	-	81.1	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		社会教育統計博物館調査(博物館)及び(博物館類似施設)								
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	博物館が多様な事業を通じて、地域課題の解決や地域活力の向上に寄与することで、地域の文化拠点としてのプレゼンスを向上させ、博物館の来館者を増加させることで、文化的に豊かなくらしを楽しむ国民が増える。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		博物館の入館者数	全国の博物館における「博物館の入館者数」について、前回調査時の実績以上を目指す	成果実績	人	-	139,703,798	-	-	
				目標値	人	-	303,068,882	-	-	
				達成度	%	-	46.1	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		社会教育統計博物館調査(博物館)及び(博物館類似施設)								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

活動内容② (アクティビティ)		学芸員や様々な専門の人材をはじめとする博物館職員について、研修や交流等を通じてその資質を向上し、博物館全体の活動の充実を図る								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		研修受講者を毎年430名程度確保する。	研修の受講者数	活動実績	人	-	-	547	-	-
				当初見込み	人	-	-	430	430	-
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	研修受講者等が、研修内容を深く理解し、多様化・高度化している博物館の運営に貢献するため、研修内容の満足度を設定する。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		研修受講者のうち、研修満足度について最も高い評価をつけた者の割合を60%以上にする	研修受講者のうち、研修満足度について最も高い評価をつけた者の割合	成果実績	%	-	-	58	-	
				目標値	%	-	-	60	-	
				達成度	%	-	-	96.7	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		研修終了後のアンケート								
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	研修受講者等が、研修内容やこれまでの取組について、自館又は他館にノウハウの共有等を実施することで、博物館機能の強化が促進されることが見込まれる。								
成果目標及び成果実績 ②-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		博物館同士での人材やノウハウの共有等	職員研修の実施(派遣)博物館数を、前回調査時の実績以上を目指す	成果実績	館	-	2,075	-	-	
				目標値	館	-	2,263	-	-	
				達成度	%	-	91.7	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		社会教育統計博物館調査(博物館)及び(博物館類似施設)								
↓	成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	学芸員や専門職員の資質向上を図ることで、博物館が求められている多様・高度化している事業に対応することができ、地域課題の解決や地域活力の向上に寄与することで、地域の文化拠点としてのプレゼンスを向上させ、博物館の来館者を増加させることで、文化的に豊かなくらしを楽しむ国民が増える。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		博物館の入館者数	全国の博物館における「博物館の入館者数」について、前回調査時の実績以上を目指す	成果実績	人	-	139,703,798	-	-	
				目標値	人	-	303,068,882	-	-	
				達成度	%	-	46.1	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		社会教育統計博物館調査(博物館)及び(博物館類似施設)								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

[illegible]

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)



費目・使途
(「資金の流れ」において
ブロックごとに最大の金額
が支出されている者につ
いて記載する。費目と
使途の双方で実情が分
かるように記載)

A.			B.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
補助金	博物館を含む実行委員会への支援	266	委託費	組織改革の取組調査事業	21
委託費	事務運営	20	委託費	新登録制度実行のための委託業務	18
計		286	計		39
C.			D.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	学芸員等の在外派遣事業	42			
委託費	学芸員資格認定の事務	4			
計		46	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

